

公益財団法人熊本県スポーツ協会
令和 7 年 度 事 業 計 画

(Ⅰ) 総 務 関 係 － 1 －

(Ⅱ) 地 域 ス ポ ー ツ 関 係 － 2 －

(Ⅲ) 競 技 ス ポ ー ツ 関 係 － 8 －

(Ⅳ) ス ポ ー ツ 少 年 団 関 係 －13－

(Ⅴ) 財 務 特 別 委 員 会 関 係 －17－

(I) 総 務 常 任 委 員 会

<総務常任委員会>

1 会議関係（県スポーツ協会関係）

(1) 評議員会

定時（6月19日：熊本市／評議員）

- ・令和6年度事業報告・決算報告について

臨時（3月13日：熊本市／評議員）

- ・熊本県民体育祭について

(2) 理事会

第1回（6月3日：熊本市／理事・監事）

- ・令和6年度事業報告・決算報告について
- ・国民スポーツ大会本部役員編成について
- ・県スポーツ協会表彰について

第2回（12月3日：熊本市／理事・監事）＊財務特別委員と合同で情報交換会実施

- ・臨時評議員会の開催について
- ・スポーツ振興くじ助成事業について

第3回（2月26日：熊本市／理事・監事）

- ・令和8年度事業計画・予算について
- ・熊本県民体育祭について

(3) 役員会

第1回（5月22日：熊本市／常務理事以上の理事）

第2回（7月17日：熊本市／常務理事以上の理事）

第3回（11月27日：熊本市／常務理事以上の理事）

第4回（2月19日：熊本市／常務理事以上の理事）

(4) 常任委員会

第1回（4月25日：熊本市／総務常任委員会委員）

- ・令和6年度総務関係事業・決算報告について

第2回（2月6日：熊本市／総務常任委員会委員）

- ・令和8年度事業計画・予算について

(5) 定期監査（5月14日：県民総合運動公園陸上競技場会議室／監事）

- ・県スポーツ協会監事による令和6年度事業及び会計監査

2 会議関係（日本スポーツ協会関係）

(1) 定時評議員会（6月25日：東京都＜ハイブリッド方式＞／本会選出評議員）

- ・令和6年度事業・決算報告について

(2) 都道府県国スポ連絡会議（3月予定：東京都／本会代表役職員）

- ・国民スポーツ大会の今後の取組について

3 会議関係（都道府県体育・スポーツ協会連合会関係）

(1) 総会（3月19日：東京都（ハイブリッド方式）／連合会幹事：専務理事）

- ・令和7年度事業報告及び会計報告について
- ・令和8年度事業計画及び予算について

(2) 西地区事務局長研修会（11月20日～21日：佐賀県／事務局長）

- ・西地区（17県）体育・スポーツ協会事務局長による研修会

(3) 事務局職員研修会（12月4日～5日：青森県／事務局員）

- ・47都道府県体育・スポーツ協会職員による研修会

4 会議関係（九州地区スポーツ協会連絡協議会関係）

(1) 連絡協議会

第1回（4月10日～11日：長崎県／専務理事他）

- ・令和6年度報告（事業・決算）及び令和7年度計画（事業・予算）

第2回（11月6日～7日：鹿児島県／専務理事他）

- ・九州ブロック大会報告及び令和8年度計画

5 事業関係

(1) 加盟団体長・理事長会（1月10日：熊本市／加盟団体長・理事長）

- ・本会の事業推進に向けた組織的な連携強化と相互理解を図り、スポーツに対する意識を高めるとともに、更なる連帯感を深めるため実施

(2) 国際・全国スポーツ大会優勝祝賀会（1月10日：熊本市／優勝者、加盟団体等）

- ・令和7年（1月～12月）に各種全国・国際大会で優勝した個人・団体の栄誉を称え、加盟団体と共に祝福するために実施

(3) 広報活動

- ・県民のスポーツに対する意識の高揚を図るため、スポーツ情報や本会の活動状況を広く発信するため、会報誌の発行等を行う

①会報誌：年2回（12月・3月）各2000部発行

②ホームページ：年4回（6月・9月・12月・3月）更新 ＊情報提供欄は随時更新

③リーフレット：500部作成。関係団体等へ広く配布。本会の組織概要や活動内容並びに協賛企業・団体名の紹介等、本会の活動を広く周知するために作成

(4) スポーツ安全協会普及広報事業

- ・県民のニーズに応じたスポーツ安全保険事業やスポーツ活動等の普及奨励及び安全指導について広く周知することを目的に実施

①スポーツ活動の普及奨励及び安全指導の活動

安全指導に関する情報提供及び本会講習会等でのプログラム提供の実施

②スポーツ安全協会の普及活動

本会加盟団体及び関係団体等への周知活動や本会広報（会報誌・ホームページ）事業を通じた周知活動の実施

(5) 会長杯ゴルフ大会（2月7日：会場未定／県ス協役員、協賛団体・加盟団体）

- ・加盟団体並びに関係団体との融和を図り、更なる親睦を深め、本県のスポーツ振興に資することを目的に開催

(Ⅱ) 地域スポーツ常任委員会

1 地域スポーツ常任委員会

第1回（4月23日：熊本市／地域スポーツ常任委員）

- ・令和6年度事業・決算報告について

第2回（11月5日：熊本市／地域スポーツ常任委員、県民スポーツ専門委員）※合同会

- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
- ・県民体育祭について

第3回（2月3日：熊本市／地域スポーツ常任委員）

- ・令和8年度事業計画・予算について

<県民スポーツ専門委員会>

1 会議関係（熊本県スポーツ協会関係）

（1）専門委員会

第1回（5月8日：熊本市／県民スポーツ専門委員）

- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
- ・県民体育祭について

第2回（11月5日：熊本市／県民スポーツ専門委員、地域スポーツ常任委員）※合同会

- ・日本スポーツ協会スポーツ指導者資格の説明について
- ・県民体育祭について

2 会議関係（県民体育祭関係）

（1）郡市代表者会（8月6日：熊本市／各郡市代表者、関係競技団体）

- ・参加資格の確認
- ・組合せ抽選会実施

（2）第80回県民体育祭熊本市大会実行委員会実行委員会総会（4月・11月予定）

（3）熊本県民体育祭開催方法検討プロジェクト（4月～3月：熊本市）

- ・令和8年度以降の熊本県民体育祭の実施方法等に関する協議。

3 会議関係（日本スポーツ協会関係）

（1）都道府県事務担当者会（5月予定：東京都／事務局指導者養成担当者）

- ・令和7年度事業概要及び各種手続きの説明

（2）全国スポーツ指導者連絡会議（2月予定：東京都／本県代表委員）

- ・各都道府県及び中央競技団体の指導者養成に関する代表者が一堂に会し、各会議の報告や今後の取り組みについて協議
- ・事務局からの伝達事項及び指導者養成について協議

4 事業関係

（1）第80回熊本県民体育祭（9月13日～14日、9月20日～21日／熊本市）

- ・趣 旨：広く県民にスポーツを普及し、県民の健康増進とスポーツ精神の高揚を図り、明るく豊かな県民生活の進展に寄与

- ・開 催 地：熊本市

- ・参加人員：加盟地域体育協会の監督選手・役員総数約7,000名（採点・公開競技）

- ・競 技：採点競技23競技（33種別）、公開競技2競技（2種別）

※上記のほかに冠称大会の位置付けとして特別競技10競技を実施。

- ・日 程：①9月13日～14日／採点競技14競技・公開競技2競技

ソフトボール、ソフトテニス、バドミントン、バレーボール、ハンドボール（女子は公開）、サッカー、柔道、相撲、銃剣道（公開）、アーチェリー、クレール射撃、ゲートボール、グラウンドゴルフ

- ②9月20日～21日／採点競技11競技

陸上競技、水泳、軟式野球、卓球、バスケットボール、剣道、弓道、空手道、馬術、テニス、ボウリング

（2）日本スポーツマスターズ2025（9月19日～23日：愛媛県）

<会期前：水泳競技・自転車競技〔ロード〕：9月6日～7日／ゴルフ競技：9月8日～12日>

- ・趣 旨：競技志向の高いシニア世代を対象としたスポーツの祭典。お互いに競い合いながらスポーツに親しむことにより、生涯スポーツのより一層の普及・振興を図り、生きがいのある社会の形成と健全な心身の維持・向上に寄与
※各競技派遣者のとりまとめは、県競技団体が行う。
- ・主 催：公益財団法人日本スポーツ協会、愛媛県、公益財団法人愛媛県スポーツ協会
- ・実施競技：水泳、サッカー、テニス、バレーボール、バスケットボール、自転車競技、ソフトテニス、軟式野球、ソフトボール、バドミントン、空手道、ボウリング、ゴルフ（13競技）

（3）熊本県スポーツ指導者研修会（8月2日：熊本市）

- ・参 加 者：日本スポーツ協会公認スポーツ指導者資格保有者300名
- ・趣 旨：公認スポーツ指導者の更なる資質向上と活動促進のため、指導者のニーズに応じた講演または研究発表、新たな課題解明や指導者相互の情報交換のための研究協議等による研修会を開催する。

（4）公認スポーツ指導者全国研修会（11月予定：東京都）

- ・参 加 者：本県からは指導者協議会代表及び指導者養成担当者 出席
- ・内 容：特別講演、シンポジウム、ワークショップ等
- ・趣 旨：社会の求めに応じてスポーツ指導者が活動できる環境や体制づくりを推進するだけでなく、指導者自らが、常に最新の情報を得て自己研鑽をさ兼ねるなど、自らも学び続ける機会とする。

（5）日本スポーツ協会公認コーチ1・2養成講習会

- ・趣 旨：地域スポーツクラブ・スポーツ少年団・学校運動部活動等でのコーチングスタッフとして、基礎的な知識・技能に基づき、安全で効果的な活動を提供するための指導者を養成する。専門科目と共通科目の各カリキュラム修了者に資格が付与
- ・受講条件：原則、満18歳以上の者。

①コーチ1養成講習会

- ・専門科目／期 日：開催する競技団体の設定による。

開催形態：競技団体による集合講習会／講習時間：20時間以上

参 加 料：15,400円（別途必要経費がかかる場合がある。）

実施団体：委 託／希望調整中

独 自／希望調整中

- ・共通科目Ⅰ／日本スポーツ協会共通科目Ⅰ講習会

期 間：①第1コース：申込期間 5月中旬～ 7月中旬

受講期間 5月中旬～ 8月中旬

②第2コース：申込期間10月上旬～12月中旬

受講期間10月上旬～ 1月中旬

開催形態：オンライン学習・オンラインテストを実施／45時間以上

参 加 料：18,040円（内訳：受講料15,400円／テキスト代2,640円）

実施団体：日本スポーツ協会（オンライン）

②コーチ2養成講習会

- ・専門科目／期 日：開催する競技団体の設定による。

開催形態：競技団体による集合講習会／講習時間：20時間以上

参 加 料：11,000円（別途必要経費がかかる場合がある。）

実施団体：委託／希望調整中

独自／希望調整中

- ・ 共通科目／期 日：コーチ 2 専門科目の実施競技団体と調整のうえ決定。（調整中）

開催形態：競技団体による集合講習会／講習時間：20 時間以上

参加料：17,600 円 および リファレンスブック代 3,300 円（その他別途必要経費がかかる場合がある。）

実施団体：コーチ 2 専門科目の実施有無に応じて熊本県スポーツ協会が開催。

(6) 日本スポーツ協会公認スポーツコーチングリーダー養成講座

- ・ 趣 旨：運動部活動改革に関連した地域等におけるスポーツ活動において、安全・安心で基礎的なスポーツ指導や運営にあたることのできるスポーツ指導者を養成する。
- ・ 受講条件：受講する年の 4 月 1 日現在、満 18 歳以上の者で、「指導者マイページ」から申し込みができる者。
- ・ 開催形態：オンライン学習・オンラインテストを実施／45 時間以上
- ・ 経 費：18,040 円（内訳：受講料 15,400 円／テキスト代 2,640 円）
- ・ 期 間：年 2 回募集

①第 1 コース：申込期間 5 月中旬～ 7 月中旬

受講期間 5 月中旬～ 8 月中旬

②第 2 コース：申込期間 10 月上旬～ 12 月中旬

受講期間 10 月上旬～ 1 月中旬

(7) 地域スポーツ普及事業（助成）

- ・ 市町村における地域住民のスポーツ普及活動の事業に対し、その経費の一部を助成し都市体育・スポーツ協会の発展及び地域のスポーツ振興に寄与する。
- ・ 助成対象団体：本会加盟の 20 地域体育・スポーツ協会

(8) スポーツ教室開設事業／アクティブチャイルドプログラム（ACP）普及事業

- ・ 子どもたちの体力づくりやコミュニケーション能力の向上などを目的に、総合型地域スポーツクラブやスポーツ少年団と連携し、県内の地域体育・スポーツ協会並びに小学校等に ACP 普及講師を派遣しスポーツ教室を開設する。（県内 10 教室を対象の予定）

(9) 熊本県スポーツ指導者協議会活動推進事業（助成）

- ・ 県内の日本スポーツ協会公認スポーツ指導者を会員として組織する「熊本県スポーツ指導者協議会」の活動を支援することにより、公認スポーツ指導者相互の連帯と、社会認知度及び価値の向上を図り、より安全で充足されたスポーツ指導ができる指導者を養成するために熊本県スポーツ指導者協議会の活動に対し助成を行う。
- ・ 助成対象団体：熊本県スポーツ指導者協議会

(10) 加盟団体組織強化事業（助成）

- ・ 加盟団体の基盤整備や各種事業等にかかる費用を助成することにより、各団体の活性化及び本県のスポーツ振興に寄与する。

①免税・100 円募金還元事業（協力加盟団体へ 100 円募金全額及び免税募金半額相当を補助金還元）

②国スポ実施競技外助成事業（9 競技団体助成 ＊高等学校野球含む）

5 表彰関係

(1) 熊本県スポーツ協会表彰事業

- ・ 本県のスポーツ振興に顕著な功績があった個人並びに団体の栄誉を称え、スポーツ功労者、スポーツ優秀者、スポーツ優良団体の表彰式を実施する。
- ・ 表彰日時：9 月 13 日（第 80 回熊本県民体育祭総合開会式時に実施）

(2) 日本スポーツ協会公認スポーツ指導者等表彰事業＜候補者推薦＞

- ・永年にわたり公認スポーツ指導者として、顕著な功績があった者を表彰し、その功に報いるとともに、今後の公認スポーツ指導者制度の一層の発展に資する。
- ・表彰日時：11月予定

(3) 2025年度ミズノスポーツメントール賞＜候補者推薦＞

- ・優秀なスポーツ指導者等を顕彰することにより、その労に報いるとともに他の指導者の励みとし、わが国選手強化のより一層の発展、スポーツ振興の充実に資することを目的とする。
- ・表彰日時：2026年4月予定

＜総合型地域スポーツクラブ専門委員会＞

1 会議関係（県スポーツ協会関係）

(1) 専門委員会

第1回（7月3日：熊本市／総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員）

- ・令和6年度事業報告・決算について
- ・総合型地域スポーツクラブの育成支援について

第2回（2月3日：熊本市／総合型地域スポーツクラブ専門委員会委員）

- ・令和8年度事業計画・予算について
- ・総合型地域スポーツクラブの育成支援について

(2) 登録審査会（2月3日：熊本市）※専門委員兼務。第2回専門委員会と同日に開催

- ・令和8年度登録申請クラブについて、申請書類をもとに審査会を行う。

(3) 総合型クラブ部会（総合型クラブ熊本県協議会）

第1回（9月26日：熊本市／総合型クラブ部会員）

- ・総合型地域スポーツクラブの育成支援について
- ・令和8年度登録・認証制度について
- ・九州ブロッククラブネットワークアクション2026in熊本の開催について

第2回（1月23日：熊本市／総合型クラブ部会員）

- ・総合型地域スポーツクラブの育成支援について
- ・令和8年度事業計画・予算について
- ・令和8年度登録・認証制度について
- ・九州ブロッククラブネットワークアクション2026in熊本の開催について

2 会議関係（日本スポーツ協会関係）

(1) クラブ支援ミーティング（6月19日～20日：東京都／アドバイザー他）

- ・アドバイザーの業務確認及び資質向上に関する会議 等

3 事業関係（県スポーツ協会関係）

(1) ヒアリング活動

- ・総合型クラブの普及・啓発のため、クラブ未設置である「未育成町村」への訪問を行い、地域スポーツの振興に係る状況の把握やクラブ創設に係る情報提供を行う。
- ・総合型クラブが活動している「既設置市町村」へは、クラブとの連携状況や課題の把握等を行うため訪問し、情報提供並びに情報収集を行う。
- ・設立準備団体、活動クラブに訪問し、クラブの経営状況や課題の把握を行い、安定・継続的なクラブ運営ができるよう指導・助言を行う。

○未育成町村訪問 錦町／南小国町／玉東町 ≪3町：計6回≫

○既設置市町村訪問 適時訪問

- 設立準備団体 にしばる倶楽部設立準備委員会 《4回》
- 設立検討団体 倉岳ジュニアクラブ《2回》
五木村総合型クラブ設立検討団体《2回》
黒髪校区総合型クラブ設立準備委員会《4回》
- 活動クラブ訪問 県内67クラブ 《内20回程度》

(2) 地域スポーツマネジメント講習会（7月26日～27日：熊本市／20名程度）

- ・総合型地域スポーツクラブに関する知識を深め、「クラブマネジャー」として適切なクラブ運営のスキルを身に付けることを目的とし、講習会を実施する。なお、本講習会は日本スポーツ協会公認アシスタントマネジャー資格の専門科目となる。

(3) 地域スポーツ振興「講師等派遣事業」

- ・スポーツ振興くじ助成事業を活用し、総合型地域スポーツクラブや設立準備団体及び市町村体育・スポーツ協会を対象に、高度な知識や技術を有するアスリートや、実技指導や研修・講義を行い、各クラブ団体及び市町村体育・スポーツ協会の活性化と地域スポーツの振興・充実を図る。県内12団体（スポーツ指導者、トップアスリート、座学講師）に派遣予定

(4) 総合型地域スポーツクラブ活性化事業

- ・総合型クラブの質的充実を目的にマーケティングの専門家等の派遣など、クラブ経営サポート事業を行う。
- ・支援対象団体：令和7年度登録クラブ2クラブ予定

(5) 熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会活動推進事業（助成）

- ・総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の活動支援を行うことにより、県内総合型クラブの活動支援及び情報共有並びにクラブ間の相互の連帯を図り、スポーツ活動の推進を図る。
- ・助成対象団体：熊本県総合型地域スポーツクラブ連絡協議会（SCS火の国クラブネット）

(6) スポーツ指導者等と地域のマッチング・情報提供事業

- ・各地域や総合型クラブ等から研修会等の講師として要望があったスポーツ指導者やスポーツ有識者について、本会加盟団体や本会役員と連携し、マッチング・情報提供を積極的に行う。

4 事業関係（県教育委員会委託事業関係）

(1) 県内クラブ交流事業

- ・県教育委員会の委託事業で総合型クラブの質的充実及び認知度向上のための取組を行う。

①視察研修（5月～2月：計1回開催予定）

- ・総合型クラブの運営・経営に役立つ視察研修の開催。

②交流研修（5月～2月：計3回開催予定）

- ・クラブ運営の中心となるクラブ関係者（クラブマネジャー、指導者等）及び行政担当者等がクラブ経営に関する研修や情報交換を行うことができる場を設定。

- ・テーマ：(i) クラブ経営情報交換会

(ii) マーケティングセミナー（入門編）

- ・対象：市町村行政担当者、総合型クラブ関係者（運営者、クラブマネジャー等）

(2) 地域スポーツ指導者研修会

①中学校運動部活動の地域移行のための必修知識研修（5月～2月：オンラインで計3回）

- ・中学校運動部活動の受け皿整備のために必要な知識をもった指導者の養成研修を開催。以下のテーマから3つ実施。

テーマ：(i) スポーツ障害・ケガ予防・トレーニング

(ii) ハラスメント根絶

(iii) 女性スポーツ

(iv) コミュニケーション

(v) 倫理・インテグリティ（誠実性、高潔性）・コンプライアンス（法令遵守）

②現場で役立つ！中学生の心と体を育む運動実践研修（5月～2月：集合で計1回）

・中学生への運動実践のスキルとノウハウについて学ぶ研修の開催。

テーマ：心身の発育発達に合った運動・トレーニング方法

5 事業関係（日本スポーツ協会関係）

(1) 九州ブロッククラブネットワークアクション2025実行委員会（7月予定：オンライン）

(2) 九州ブロッククラブネットワークアクション2025（12月13日～14日：沖縄県）

・ブロッククラブネットワークアクションは、日本スポーツ協会が主催となり、全国9ブロックで情報共有・課題解決等を目的に開催されており、九州ブロックは各県輪番で開催。

(3) SC 全国ネットワーク総会＜JSP0 日程調整中＞：東京都／代表委員他）

(4) 地域のスポーツ環境基盤強化事業【日本スポーツ協会委託事業】

・総合型クラブの課題である認知度向上のため、クラブ紹介動画（PV）制作を行い、広く周知活動を行う。

・本会で制作した紹介動画をメディアや大型ビジョン、SNS等で配信する

競 技 ス ポ ー ツ 常 任 委 員 会

1 競技スポーツ常任委員会

第1回（4月25日：熊本市／競技スポーツ常任委員）

・令和6年度事業・決算報告について

第2回（2月4日：熊本市／競技スポーツ常任委員）

・令和8年度事業計画・予算について

＜強化専門委員会＞

1 会議関係

(1) 専門委員会

第1回（7月11日：熊本市／強化専門委員会委員）

・令和7年国民スポーツ大会の競技成績等について

・令和7年度「国民スポーツ大会関連」について

第2回（2月4日：熊本市／強化専門委員会委員・医科学専門委員会委員）※合同会

・令和8年度「国民スポーツ大会関連」について

・令和8年度AT養成講習会推薦について

(2) 競技力向上対策事業説明会（4月16日：県民総合運動公園陸上競技場会議室／42競技団体）

・基本方針・実施要項及び各種事業要領について

・事業費の配分について

・助成金交付要項について

・スポーツ医科学対策事業並びに熊本県スポーツ協会自主事業について

2 事業関係（競技スポーツ振興事業関係）

(1) 競技力向上対策事業（くまもと新時代競技力向上事業：県補助事業／県委託事業）

・国民スポーツ大会をはじめとした各種大会に向けた選手強化と各競技の底辺拡大・強化を図ることを目的に各種事業を通し、本県の競技力向上と競技スポーツの普及・振興に資する。

①くまもと新時代ワールドアスリート事業 <県委託事業>

ア マルチサポート事業

- ・競技団体推薦のもと、熊本県が選考した指定選手（オリンピックをはじめとする国際大会や全国トップクラスで活躍する資質を持った本県関係アスリート）を対象に、選手自身がフィジカル・メンタルの状態を把握し、効果的トレーニングを計画するため、フィットネスチェック測定を実施し、結果をフィードバックするとともに、必要に応じて医学的サポートを行う。

②くまもと新時代トップアスリート事業 <県補助事業>

ア チーム熊本基盤強化事業

- ・当年度の国民スポーツ大会や次年度に向けた各競技団体の選手強化を図ることを目的に競技団体に対して補助事業を行う。

③くまもと新時代ミライアスリート事業 <県補助事業>

ア ジュニア育成事業

- ・ジュニア期における有望選手の早期発掘および長期的視野に立った競技者育成計画に基づく競技団体が実施する選手育成事業に対し補助事業を行う。

イ ジュニア強化事業

- ・ジュニア期の特に活躍している選手を対象とした競技団体が実施する強化事業に対して補助事業を行う。

④指導者育成事業 <県補助事業>

- ア 本県の競技力向上に関わる指導者の資質向上を図るため、各競技団体が実施する指導実績のある指導者を招聘した研修会や先進県や実業団、大学等への指導者の派遣に対して補助を行う。

⑤アスリートサポート事業（競技力向上対策関連） <県補助事業>

ア 競技力向上対策研修会（11月3日：熊本市／国民スポーツ大会関係競技団体）

- ・各競技団体の強化担当者・監督等を対象に、講話及び成績報告・分析を実施し、資質向上を図る。

イ 調査研究・広報事業

- ・競技力分析並びに事業説明資料等作成

⑥スポーツ環境整備事業 <県補助事業>

ア 競技団体助成

- ・各競技団体が地域と連携・協力しながら行うスポーツ教室や体験会等やそのために必要な練習環境の整備に対して補助を行う。

イ 日韓親善スポーツ交流（忠清南道）事業

- ・熊本県と大韓民国・忠清南道の姉妹提携の趣旨並びに本会と忠清南道體育會との申し合わせに基づき、スポーツを通して両国の友好親善を深めるとともに、本県の競技力向上を目的に交流大会を開催する。受入と派遣を隔年で行う。
- ・会 場：益城町総合体育館（上益城郡益城町）
- ・期 日：6月24日～27日
- ・対 象 者：本県の高校生：20名（含む本部役員） ※韓国団も同数。
- ・競技団体：剣道

（2）競技力向上対策事業に係る競技団体ヒアリングの実施

- ・対象団体：国民スポーツ大会の正式競技として実施される関係41競技団体
- ・期 間：11月10日～28日 ※期間中、各団体1時間程度個別に実施

- ・実施者：本会及び県教育庁県立学校教育局体育保健課スポーツ振興班
- ・会場：県民総合運動公園陸上競技場会議室

3 国民スポーツ大会派遣関係

・スポーツ基本法に明記されている国民スポーツ大会並びにその予選会となる九州ブロック大会に大会実施要項等の規則に基づき、熊本県選手団を編成し派遣する。

(1) 第45回九州ブロック大会（長崎大会）

①前期競技（5月18日～7月27日：長崎県）

- ・5月18日：カヌー（スラローム・ワイルドウォーター）
- ・7月12日～13日：水泳（アタシックスミング）、テニス、バレーボール（ビーチバレー）、馬術、ボウリング
- ・7月18日～20日：ローイング、体操（競技）、カヌー（スラット）、ゴルフ
- ・7月22日～27日：水泳（水球）、体操（トランポリン、新体操）、スポーツクライミング、空手道

②後期競技（8月16日～9月1日：長崎県）

- ・8月16日～20日：ハンドボール、フェンシング、アーチェリー
- ・8月22日～24日：サッカー、ボクシング、ウエイトリフティング、ソフトテニス、軟式野球、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、剣道、銃剣道、なぎなた
- ・8月28日～9月1日：ホッケー、バスケットボール、バレーボール（6人制）、卓球、ラグビーフットボール

③冬季大会（12月6日～7日：福岡県福岡市）

- ・競技：アイスホッケー

(2) 第79回国民スポーツ大会（わた SHIGA 輝く国スポ2025）

①結団式（9月18日：熊本県庁地下大会議室）

②会期前1回目（9月6日～15日：滋賀県草津市他）

- ・9月6日～15日：水泳、バレーボール（ビーチバレー）、体操（体操競技、新体操、トランポリン）

③会期前2回目（9月21日～9月25日：滋賀県東近江市他）

- ・9月21日～9月25日：自転車、（特別競技：高等学校野球）

④総合開会式（9月28日：滋賀県彦根市）

⑤本大会（9月28日～10月8日：滋賀県大津市他）

- ・実施競技：陸上競技、サッカー、テニス、ローイング、ホッケー、ボクシング、バレーボール（6人制）、バスケットボール、レスリング、セーリング、ウエイトリフティング、ハンドボール、ソフトテニス、卓球、軟式野球、相撲、馬術、フェンシング、柔道、ソフトボール、バドミントン、弓道、ライフル射撃、ラグビーフットボール、スポーツクライミング、カヌー、アーチェリー、空手道、銃剣道、なぎなた、ボウリング、ゴルフ、トライアスロン

⑥総合閉会式（10月8日：滋賀県彦根市）

⑦知事報告会（10月24日：熊本県庁）

(3) 第80回国民スポーツ大会冬季大会（青の煌めきあおもり国スポ）

①結団式（1月21日：熊本県庁防災センター）

②スケート・アイスホッケー競技会（1月31日～2月8日：青森県）

- ・開始式：1月31日（青森県八戸市）

スケート（スピード・ショートトラック・フィギュア）：1月31日～2月8日

③スキー競技会（2月14日～17日：青森県）

- ・開始式：2月14日（青森県平川市）

スキー（ジャイアントスラローム・クロスカンтриー・スペシャルジャンプ・コンバインド）：2月14日～17日

<スポーツ医科学専門委員会>

1 会議関係（熊本県スポーツ協会）

(1) 専門委員会

第1回（7月2日：熊本市／スポーツ医科学専門委員会委員）

- ・令和6年度事業・決算報告について
- ・令和7年度事業について
- ・競技スポーツ振興事業医科学サポート事業について
- ・トレーナー部会関連について

第2回（2月4日：熊本市／強化専門委員会委員・スポーツ医科学専門委員会委員）※合同会

- ・令和8年度「国民スポーツ大会関連」について
- ・令和8年度AT養成講習会推薦について

(2) トレーナー部会（5月14日：熊本市／トレーナー部会員）

- ・令和7年度事業計画について
- ・スポーツトレーナー派遣事業について
- ・トレーナー研修会について

2 会議関係（日本スポーツ協会）

(1) 第79回国スポドクターズ・ミーティング（9月中旬：オンライン／専門委員長出席）

- ・医・科学サポートシステムの充実を図るための情報提供及び意見交換
- ・国民スポーツ大会における医療・救護体制について

(2) 全国アスレティックトレーナー連絡会議（1月中旬：オンライン／部会長出席）

- ・アスレティックトレーナーの連携及び活動促進・相互研修・情報交換等

(3) スポーツドクター代表者協議会（3月上旬：オンライン／専門委員長出席）

- ・公認スポーツドクターの連携を密にし、活動促進や相互研修、情報交換の促進
- ・国スポ選手のメディカルチェックと医科学サポート

3 講習会・研修会（日本スポーツ協会等関係）

(1) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター養成講習会

- ・熊本県医師会と連携し、関係機関等に周知し受講者を推薦する。

(2) 日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー養成講習会

- ・本会トレーナー部会員から、受講者2人を推薦する。

(3) 日本スポーツ協会公認スポーツデンティスト養成講習会

- ・熊本県歯科医師会と連携し、受講者を推薦する。

(4) 日本スポーツ協会公認スポーツドクター研修会

- ・公認スポーツドクターにおける義務研修会
- ・全国2会場（オンラインあり）で6月～2月に開催。その他、日本臨床スポーツ医学会・日本整形外科学会スポーツ医学会学術集会、日本関節鏡・膝・スポーツ整形外科学会も更新対象として実施。

4 事業関係（アスリートサポート事業／スポーツ医科学関連）<県補助事業>

(1) スポーツドクター活動助成事業

- ・公益社団法人熊本県医師会が行う下記の事業に対して助成事業を実施する。
 - ①各種スポーツ大会へのスポーツドクターを派遣する事業
 - ②競技団体を開催する県内研修会等に、スポーツドクターを派遣する事業
 - ③スポーツドクターの資質向上のため、県内研修会を開催する事業
 - ④中央研修会（義務研修会を除く）にスポーツドクターを派遣する事業

(2) メディカルチェック事業

- ・国民スポーツ大会の参加資格に「健康診断を受け、健康であることを証明された者であること」と明記されている。候補選手の疾病を早期に発見と発病予防により大会での事故を未然に防ぐため、候補選手に対する基本健康調査（オンラインフォーム回答）と、その結果に基づく健康診断・メディカルチェックを実施する。また、基本健康調査に併せて栄養・メンタル診断調査（オンラインフォーム回答）も実施し、各選手にフィードバックする。

①基本健康調査（オンラインフォーム形式アンケート）の配付・回収

- ・時期：4月中旬～6月17日
- ・対象：国民スポーツ大会・九州ブロック大会参加選手及び候補選手等

②基本健康調査判定会の実施（7月2日：熊本市）

③メディカルチェックの実施（8月2日：熊本市医師会ヘルスケアセンター）

④メディカルチェック判定会の実施（8月20日：熊本市）

(3) 医科学サポート事業

①メディカルスタッフサポート事業

- ・競技団体に実施希望を調査し、競技団体が実施する強化担当者・指導者・選手・保護者を対象とした各種講習会（歯科、心理、栄養、アンチドーピング）に講師を派遣し、スポーツ医科学サポートの面から競技力向上を図る。（全体6回程度）

②フィジカルフィットネスサポート事業（11月29日：熊本市）

- ・次年度の国民スポーツ大会に向けて、候補選手等にフィットネスチェック測定（身体組成や生体機能等）を行い、競技者自身が体力を把握するとともに、競技に必要な体力要素の補強手段を得て、今後のトレーニング計画に役立てることを目的とする。

(4) スポーツトレーナー派遣事業

- ・国民スポーツ大会において優秀な成績を収めるため、スポーツ医科学の知識と技術をもち、実践できるトレーナー等を国民スポーツ大会やブロック大会に派遣し、選手のコンディショニングを図ることで、より効果的な競技力の向上を図る。また、各競技団体の日ごろの活動等を対象に本会トレーナー部会員を派遣し、選手のパフォーマンス向上を図る。併せて、トレーナーの育成と資質の向上を目指し、研修会を実施する。

①九州ブロック大会（長崎県）、国民スポーツ大会（滋賀県）、冬季大会（青森県）への本会トレーナー部会員を派遣する。

②トレーナー研修会（1月21日：熊本市／トレーナー部会会員）

- ・本県トレーナーの資質向上及び最新の医科学知識の共有等も目的に開催する。

(5) スポーツ医科学普及事業

①研究紀要の編集・発行

- ・スポーツ医科学事業の内容や研究成果等を編集・冊子化し、加盟団体等へ配布する。

5 事業関係（アンチ・ドーピング教育・啓発事業関連）

(1) アンチ・ドーピング教育・啓発事業

- ・競技者支援関係者及び国民スポーツ大会選手を中心としたアンチ・ドーピング教育・啓発活動を実施することにより、競技者が、国民スポーツ大会や学校部活動等における薬物乱用・誤用の認識を高め、健全なスポーツ活動を推進する。

①国民スポーツ大会選手へのアンチ・ドーピング教育の徹底

- ・国民スポーツ大会参加までに実施報告の義務化されたことを踏まえ、アンチ・ドーピング教育の基礎知識周知のための「国民スポーツ大会参加選手のためのアンチ・ドーピング手帳」を作成

②アンチ・ドーピング教育訪問研修会

- ・競技団体に実施希望を調査し、国民スポーツ大会エントリー選手・監督等を対象に、熊本県薬剤師会と連携し、アンチ・ドーピング教育を行う。(全体5回程度)

③ドーピング検査等に係る説明会

- ・国民スポーツ大会結団式において、アンチ・ドーピング教育及び国スポ期間中にドーピング検査対象者となった場合の対応手順等について説明。(本大会・冬季大会)

④アンチ・ドーピング教育・啓発事業熊本県講習会(2月7日:熊本県薬剤師会館)

- ・競技者や支援者が国民スポーツ大会等をはじめ、スポーツ活動における薬物乱用や誤用に対する認識を高め、健全なスポーツ活動を推進することを目的に実施。
- ・対象者:県下薬剤師、スポーツドクター、トレーナー、県内学校関係者等

⑤アンチ・ドーピング情報提供会(6月予定:オンライン予定/事務局担当者)

- ・新年度におけるアンチ・ドーピング規定等、留意事項の詳細説明等を実施。

6 事業関係(熊本県スポーツ協会関連)

(1) スポーツ指導者フォーラム(2月28日:熊本市)

- ・広く県民の間にスポーツを普及し、また競技力の向上を図るため、特にスポーツ医・科学分野の知識・理解を深めるため、体育スポーツ関係者を一堂に会し研修の場とする。併せて日本スポーツ協会公認スポーツ指導者における義務研修会として実施する。
- ・内 容:スポーツ医科学に関する講演会を実施
- ・参加者:スポーツドクター、トレーナー、公認スポーツ指導者等

(2) 国民スポーツ大会ドクター・アスレティックトレーナー帯同<本部役員派遣>

- ・選手の応急処置や健康管理等のコンディショニングを図り、より効果的な競技力の向上を図る。また、「ドクターズ・ミーティング」に参加し、医科学の専門的な情報を共有する。

(IV) スポーツ少年団本部委員会

1 会議関係(県内関係)

(1) 県スポーツ少年団本部委員会

第1回(4月23日:熊本市/県スポーツ少年団本部委員)

- ・令和6年度事業・決算報告

第2回(2月5日:熊本市/県スポーツ少年団本部委員)

- ・令和8年度事業計画・予算

(2) 県スポーツ少年団指導者協議会

第1回(7月3日:熊本市/県スポーツ少年団指導者協議会委員)

- ・令和7年度事業について
- ・スポーツ少年団の現状報告・各種方策について

第2回(2月5日:熊本市/県スポーツ少年団指導者協議会委員)

- ・令和8年度事業について
- ・スポーツ少年団の現状報告・各種方策について

(3) 市町村スポーツ少年団事務説明会(5月12日:熊本市/市町村スポーツ少年団・社会体育担当者等)

- ・スポーツ少年団事業説明
- ・各種手続き業務の説明及び新システム運用等について

2 会議関係（九州ブロック）（幹事県：鹿児島／開催県：宮崎県）

- (1) 九州ブロックスポーツ少年団連絡協議会（4月17～18日：宮崎県／本部長・指導者協議会会長・事務担当者）
 - ・令和6年度九州ブロック協議会報告（事業・決算）及び令和7度計画（事業・予算）
- (2) 九州ブロックスポーツ少年団指導者研究協議会（11月8日～9日：宮崎県／指導者協議会会長・女性指導者・事務担当者）
 - ・全国共通テーマに沿った協議及び九州ブロック内協議事項
- (3) 日本スポーツ少年団九州ブロック会議（1月29日～30日：宮崎県／本部長・指導者協議会会長・事務担当者）
 - ・令和8年度日本スポーツ少年団活動計画・予算

3 会議関係（日本スポーツ少年団）

- (1) 委員総会
 - 第1回（5月31日：東京都／本県スポーツ少年団選出委員）
 - ・令和6年度事業・決算報告
 - 第2回（2月28日：東京都／本県スポーツ少年団選出委員）
 - ・令和8年度事業計画・予算
- (2) 全国指導者協議会（6月14日：東京都／指導者協議会会長／オンライン併用）
 - ・日本スポーツ少年団第11次育成5か年計画について
- (3) 都道府県事務担当者会（4月25日：東京都／事務担当者）
 - ・令和7年度各種事業の事務手続きについて

4 スポーツ交流事業

- (1) 県大会
 - ・本県ジュニアスポーツの活性化と団員相互の交流を促進する。また、日ごろの成果を発表する場を設けるとともに、各全国大会や九州大会の本県予選会とする。
- ①軟式野球大会（6月1日・7日～8日・14日～15日：県民総合運動公園 他）
 - ・監督会議・組合せ抽選会（5月21日：熊本市）
 - ・県内から各郡市代表32チーム参加
 - ・1位・2位チームが九州大会（長崎県）へ出場。
- ②ソフトボール大会（5月17日～18日：県民総合運動公園ソフトボール場 他）
 - ・代理抽選会（5月8日：熊本市）
 - ・県ソフトボール協会及び県スポーツ少年団に登録のある20チーム程度に参加募集を行う。
- ③バレーボール交流大会（7月12日～13日：山鹿市立鹿本体育館 他）
 - ・監督会議・組合せ抽選会（6月21日：熊本市）
 - ・県内から30チーム程度参加募集
 - ・1位は全国大会（京都府）、2位・3位チームは九州大会（鹿児島県）へ出場。
- ④剣道大会（9月6日：熊本市）
 - ・県内のスポーツ少年団登録剣道単位団に募集。
 - ・小学生団体の部と中学生個人男女別を行う。
 - ・各区分の1位は全国（富山県）への出場。
- ⑤県少林寺拳法交流大会（助成）（11月予定：会場調整中）
 - ・県内15支部200名参加
- ⑥くまもとジュニアアスレティックトライアル（12月14日：県民総合運動公園）
 - ・県内の小学生200名程度募集。走・飛・投の各記録会を実施。

(2) 九州大会（第45回九州ブロックスポーツ少年団競技別交流大会）

- ・団員にスポーツの遊びを経験する機会と、より伸びるための研修の場を設け、各競技別交流大会を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団員活動の活性化を図ることを目的として実施する。

①バレーボール【開催県選択競技】（8月2日～4日：鹿児島）

- ・本県出場枠：2チーム（県大会にて上位2・3位チーム／参加料補助）
- ・参加総数：16チーム

②ミニバスケットボール（8月1日～3日：大分県）

- ・本県参加枠：男女各1チーム（参加を希望する登録単位団／参加料補助）
- ・参加総数：16チーム（男子8チーム、女子8チーム）

③空手道（8月2日・3日：福岡県）

- ・本県参加枠：小中学生計2チーム（参加を希望する登録単位団／参加料補助）
- ・参加総数：16チーム

④軟式野球（7月25日～27日：長崎県）

- ・本県参加枠：2チーム（県大会の1位・2位チームが出場／参加料補助）
- ・参加総数：16チーム

⑤サッカー（11月22日～24日：熊本県）

- ・本県出場枠：2チーム（参加を希望する登録単位団／参加料補助）
- ・参加総数：16チーム

(3) 全国大会

- ・団員にスポーツの遊びを経験する機会とより伸びるための研修の場を設け、各競技を通じて団員相互の交流を深め、仲間意識と連帯を高めることにより、スポーツ少年団活動を一層豊かなものとし、地域における団活動の活性化を図ることを目的とする。

①軟式野球交流大会（8月8日～11日：三重県）

- ・本県出場枠：参加枠は九州Iグループの輪番制により本県出場なし。

②ホッケー交流大会（9月13日～15日：東京都）

- ・本県参加枠：男女各1チーム（県ホッケー協会で選考）

③剣道交流大会（3月27日～29日：富山県）

- ・県大会の小中学生団体及び中学生男女各1名を派遣。（県大会優勝チーム・優勝者を派遣）

④バレーボール交流大会（12月25日～28日：京都府）

- ・県大会優勝チームを派遣。
- ・女子は48チーム(全都道府県)参加。男子は10チーム(9ブロック)参加。九州ブロックの輪番により本県から派遣。

5 研修事業

(1) スポーツ少年大会

- ・各都道府県または九州各県スポーツ少年団リーダー及び指導者・団員の参加のもと集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動・野外活動・交歓交流活動等を通して、青少年の心身の健全育成を図るとともに、スポーツ少年団活動をより一層促進し、地域における活動の活性化を図る。また、リーダーの育成を考慮したスポーツ交歓交流大会である。

①JAPAN GAMES JUNIOR&YOUTH SAGA2025【旧 全国スポーツ少年大会】（7月31日～8月3日：佐賀県）

- ・本県参加枠：6名参加募集（指導者1名・団員 中学生高校生5名）
- ・参加者は交歓記念として500円程度の民芸品を準備。

②九州ブロックスポーツ少年大会（8月14日～17日：沖縄県）

- ・九州各県スポーツ少年団から参加
- ・本県参加枠：小学生5人、中学生5人、指導者3人を基準とする。

(2) リーダースクール

- ・スポーツ少年団の団員の参加のもと、集団生活を行い、スポーツ活動・文化学習活動等を通じて、青少年のこころとからだを育て、将来の指導者として活躍できるリーダーの養成を目指すとともに、各単位団間の交流を深め、スポーツ少年団活動の活性化を図る。

①シニア・リーダースクール（8月6日～9日：静岡県）

- ・本県参加枠：高校生以上の団員5名
- ・参加資格：当該年度に団員登録をし、義務教育を終了した20歳未満の者。また、ジュニアリーダー資格取得者またはリーダー制度に定める活動単位取得者

②熊本県ジュニア・リーダースクール（3月14日～15日／天草青年の家）

- ・スポーツ少年団員40名参加募集。

(3) 指導者講習会等

①スタートコーチインストラクター養成講習会（9月27日～28日：東京都）

- ・都道府県スポーツ少年団本部長が推薦する者を対象に、2020年度から開催（2020年コロナ中止）する「スタートコーチ（ジュニアユース）養成講習会」の講師を養成するための講習会＜2日間＞として、日本スポーツ協会が実施。

②スタートコーチインストラクター再委嘱研修会（9月～10月予定：全国5会場）

- ・「認定育成員」資格取得者を対象に、2020年度から実施（2020年コロナ中止）する「スタートコーチ（スポーツ少年団）養成講習会」の講師を育成するための講習会＜1日間＞として、日本スポーツ協会が実施。

③スタートコーチ養成講習会（10月25日：熊本市）

- ・「公益財団法人日本スポーツ協会公認スポーツ指導者制度」に基づき、単位スポーツ少年団活動における指導に係る最低限度の基礎知識を講習するため、スポーツ少年団の実技指導に携わる者を対象に実施する。

④ジュニアスポーツフォーラム（6月15日：東京都）

- ・ジュニアスポーツの指導に関わる方（スポーツ少年団関係者、総合型地域スポーツクラブ関係者、JSP0 公認スポーツ指導者資格保有者、学校運動部活動等の地域スポーツに関わる方など）を対象に、日本スポーツ少年団が主催で開催する研修会。

(4) アクティブチャイルドプログラム関係

①都道府県普及促進研修会（11月15日：熊本市）

- ・アクティブチャイルドプログラム（発育・発達の過程にある幼児期から小学生程度の児童を対象とした身体の運動能力を高めるためのプログラム）を普及するための講習会として、スポーツ少年団関係者、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者、総合型地域スポーツクラブ関係者、幼稚園・保育園等の教員、教育委員会関係者等を参加対象に実施。

②全国研修会（5月～2月／全国8会場）

- ・アクティブチャイルドプログラムを広く普及し、ジュニアスポーツ振興に資する研修会。

③アクティブチャイルドプログラム指導実践研修会（5月～2月／全国6会場）

- ・過年度に普及講習会または普及促進研修会を受講した者を対象に、より実践的な講習会を日本スポーツ協会が実施。

④幼児期からのアクティブチャイルドプログラム講師講習会（5月～2月予定：全国2会場）

- ・普及促進研修会の講師を育成するための講習会（2日間）として日本スポーツ協会が実施。

⑤幼児期からのアクティブチャイルドプログラム講師講習会受講修了者対象ブラッシュアップ

研修会（５月～２月予定：全国２会場）

- ・過年度に講師講習会を受講した講師を対象にブラッシュアップを目的に、本スポーツ協会が実施。（１日間）

（５）リーダー会関係

①全国リーダー連絡会（１１月予定：東京都／オンライン併用）

- ・本県参加枠：リーダー代表者２名、リーダー育成担当者２名
- ・全国都道府県スポーツ少年団リーダーの相互研修及び情報交換を通じ、リーダーの資質向上と各都道府県リーダー会及び全国的ネットワークの充実・強化を目指し、各都道府県スポーツ少年団リーダー代表による全国会議。
- ・参加者への旅費補助はなし。

②九州ブロックリーダー研究大会（１０月１８日～１１月２日の内１泊２日：佐賀県）

- ・本県参加枠：指導者１名・リーダー５名
- ・九州各県スポーツ少年団リーダー関係者の相互研究を通して、九州各県及び各市町村スポーツ少年団リーダーの育成・充実並びにリーダー会の設置を促進するとともに、将来の指導者としての資質の向上を目指すため、九州各県リーダー代表による研究大会を開催。

③県リーダー会総会（６月予定：熊本市／リーダー会会員）＊例会は毎月１回程実施予定。

６ 国際交流事業

- ・日本スポーツ少年団と相手国の青少年スポーツ団体の主催事業として、両国の優れた青少年および指導者の相互交流により、友好と親善を深め国際的能力を高めるとともに、両国の青少年スポーツの発展に寄与することを目的とする。

（１）日独スポーツ少年団同時交流

①派遣（７月３０日～８月１４日）

- ・シニアリーダー認定者や所要単位取得者が派遣対象
- ・事前研修（５月１７日～１８日：オンライン）

②受入（７月３１日～８月１４日）

- ・九州グループ輪番制により受入なし。

７ 日本スポーツ少年団顕彰事業

- ・永年にわたりスポーツ少年団の発展に貢献し、特に顕著な功績のある「市区町村スポーツ少年団」「登録指導者」「退任指導者」に対して、日本スポーツ少年団が表彰（退任指導者に対しては感謝状を贈呈）を行う。本県から３市町村と個人１名を推薦（予定）する。

（Ｖ）財 務 特 別 委 員 会

１ 会 議 関 係

（１）財務特別委員会

第１回（７月１７日：熊本市／財務特別委員会委員）

- ・令和６年度報告及び令和７年度計画について

第２回（１２月３日：熊本市／財務特別委員会委員）

- ・令和７年度経過報告について ＊県ス協理事と合同で情報交換会実施

２ 事 業 関 係

（１）１００円募金活動

- ・広く県民に県スポーツ協会の事業等を周知し、スポーツに対する意識の高揚を図るため実施

- ①県スポーツ協会関係事業時に実施
- ②各加盟団体での取り組み（各団体が実施する大会や会議開催時に実施）
- （２）企業・団体等訪問
 - ・過年度実績を基に関係企業・団体等（１５０か所）を訪問し、県スポーツ協会の事業並びに免税募金依頼等の周知活動を実施
- （３）免税募金企業・団体の周知事業
 - ・各種広報事業等を活用し、本会会報誌をはじめとする本会が作成する印刷物に、広く各種募金活動の内容及び協力をいただいた企業・団体名紹介を実施
 - ①会報誌：２００部作成。加盟団体並びに行政機関及び学校（小・中・高校）等配付
 - ②ホームページ：免税募金に関するページを開設し、募金内容及び協賛企業・団体名を紹介
 - ③リーフレット：５００部作成。関係団体等へ広く配布。本会の組織概要や活動内容並びに協賛企業・団体名の紹介等、県ス協の活動を広く周知するために作成
 - ④その他：本会が主催する各種研修会等の印刷物（パンフレット）に本会の活動を支える協賛企業・団体名の紹介
- （４）協賛社（団体）ロゴマーク活用事業
 - ・１０万円以上の寄付社（団体）を対象に、本県のスポーツ振興や本会の活動を支える支援企業・団体として、社名ロゴマークを本会の広報媒体（会報等印刷物・ホームページバナー等）を活用し広く周知する。
- （５）財務特別委員会委員・協力企業・団体等の国民スポーツ大会帯同＜本部役員派遣＞
 - ・本会の活動を広く認識するとともに、本県のスポーツ振興に資するため国民スポーツ大会の本部役員として帯同を依頼